
株式投資型クラウドファンディング について



株式会社ユニコーン

Web上で、不特定多数から資金提供を受けて
資金を調達する手法

crowd = 群衆
funding = 資金調達

クラウドファンディングの種類



種類	調達者の 会計処理*	資金提供者の経済的利益
寄付型	営業外収益	なし (場合により、税制上のメリットあり)
購入型	前受金 (売掛金)	あり ✓ 商品やサービスなどの対価を受け取る
ファンド型	匿名組合 預り金	あり ✓ 元本に加えて、分配金を受け取る
融資/貸付型	借入金 (負債)	あり ✓ 元本に加えて、金利を受け取る
株式投資型	資本金 資本準備金	法律に守られた株主としての権利を有する (加えて、商品やサービスなどの対価を受け取る場合もある)

金融商品

* 法人の場合

株式投資型CFと購入型CFの比較

<資金調達をする事業会社からの観点による主な違い>

	株式投資型CF	購入型CF
自己資本の充実	増資（新株の発行）を行うため自己資本が充実し財務体質が改善される	増資ではないため、自己資本は充実しない
資金調達額	平均調達金額は約3,300万円 （上限金額は年間1億円未満）	1,000万円を越す資金が集まることもあるが、100万円以下の比較的少額なものが多い
マーケティング	ネットを使って広範囲の個人に自社の商品やサービスを宣伝出来る	同左
購入者との関係	株主という長期保有のサポーターの創出が可能	通常、1回だけの購入で終わることが多い （会員制の場合は除く）
報酬	完全成功報酬型	完全成功報酬型が多い
準備の手続き・審査	取扱業者は発行会社の審査を行うことが義務付けられているため、手続きの期間は長くなる	手続きは比較的簡便
調達後の義務等	四半期に一回の報告や株主総会の開催など、継続的なIR（株主向けの広報）活動が必要	リターンを提供することで終了 （通常、1回限り）

未上場企業の株式増資には「50人の壁」がある

※50人以上に勧誘行為を行うと「募集」に該当し、調達金額によっては有価証券届出書（監査報告書の添付が必要）の提出が必要

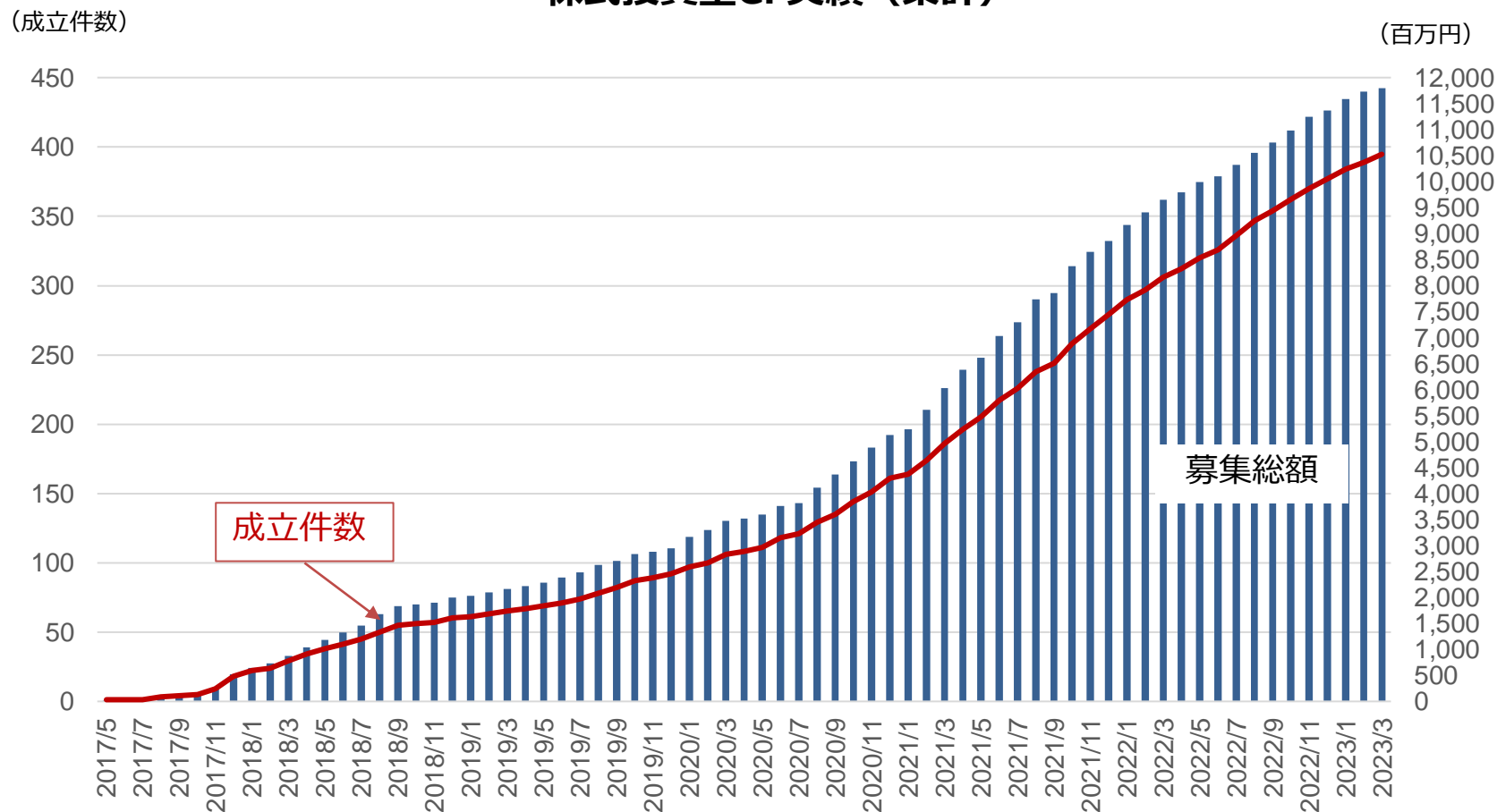
2015年5月 金融商品取引法 改正

株式投資型CFの解禁

- ・ web上の募集であれば50人の制限なし
- ・ 企業による年間資金調達額は1億円未満
- ・ 投資家の投資金額は1社につき年間50万円以下
- ・ 業者は登録制（第一種少額電子募集取扱業者）
 - ✓ 投資家保護のため、登録業者に対し、株式募集を行う企業の審査を行うとともに、募集時に一定の開示を行うことを求めている

株式投資型CF市場は順調に拡大し、累計の調達金額は100億円を突破

株式投資型CF実績（累計）



(出所) 日本証券業協会 2023年3月末現在

- 費用について、教えてください。
 - ⇒審査申込料として、10万円（税別）を申し受けます。
 - ⇒また、本審査開始以降に手続きを中止、または延期する場合は、審査にかかる実費や募集画面作成費用などを請求させて頂く場合があります（本審査に入る前に覚書をご提出頂きます。）
 - ⇒案件が成立した場合は、最終的な募集金額の20%（税別）を成功報酬として頂戴します。
- 株主が数百人になると株主管理がたいへんではないですか。
 - ⇒弊社にてIR及び株式事務についてのサポートサービス（有償）がございますので、ご安心ください。
- 反社会的勢力の排除について教えてください
 - ⇒弊社に投資会員として登録して頂く際に、反社チェックを行っております。また、登録後も定期的にチェックを行っており、事後的に反社であることが判明した場合は、『取引約款』の定めに基づき、当該株主には、発行会社様又は発行会社様が指定する第三者に当該株式を購入価額で譲渡して頂くこととなります。
- 募集時の株価については、どの様にして決めるのですか。
 - ⇒ご提出頂く事業損益5年分に基づき、当社内で算定し、直近での発行価格等を勘案の上、発行会社様とご相談のうえ決めさせて頂きます。

株式会社ユニコーン



(HP)
(Unicorn)
(問い合わせ先)

<https://unicorn-cf.co.jp>
<https://unicorn-cf.com>
sales@unicorn-cf.com